商工会地域の景況感は全業種でマイナス水準。小売業は特に厳しい状況
来期、マイナス水準ながら、全業種で改善の見込
ー2025 年 4 月～ 6 月期　中小企業景況調査報告書概要ー

日銀が 2025 年 7 月 1 日に発表した 6 月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業で 3 月の調査から 1 ポイント改善しプラス 13 となった。業種別でみると、鉄鋼、紙・パルプ、石油・石炭製品などで改善したものの、金属製品、自動車、汎用機械などは悪化した。鉄鋼は改善したもののマイナス 3 とまだ厳しい。大企業・非製造業は 3 月調査から 1 ポイント悪化しプラス 34 となっている。3 月調査比、建設、情報通信サービス、対事業所サービス、対個人サービスで改善しているものの、物品賃貸、不動産、通信、電気・ガス、宿泊・飲食サービスは悪化している。

中小企業の業況判断指数は、製造業では 1 ポイント悪化してプラス 1、非製造業も 1 ポイント悪化してプラス 15 となっている。業種別でみると、製造業では造船・重機等やはん用機械などで改善し、鉄鋼、生産用機械などで悪化している。非製造業で物品賃貸や通信などで改善し、卸売、情報サービス、宿泊・飲食サービスなどで悪化している。

販売価格判断（上昇ー下降）を見ると大企業・製造業ではプラス 25 と 3 ポイント低下。中小企業・製造業はプラス 27 で横ばい（±0）。仕入価格判断（上昇ー下降）は大企業・製造業でプラス 39 と 3 月調査比 2 ポイント低下。中小企業・製造業はプラス 54 で 3 ポイント低下している。販売価格判断、仕入れ価格判断ともに頭打ちとなってきているが、水準としては高い。

3 か月後の業況判断の先行き見通し（2025 年 9 月予測）は、大企業・製造業は 1 ポイント悪化の 12、大企業・非製造業では 7 ポイント悪化のプラス 27 と予測されている。中小企業では、製造業は 3 ポイント悪化のマイナス 2、非製造業は 6 ポイント悪化のプラス 9 と予測されている。

内閣府が 2025 年 7 月 29 日に発表した 7 月の月例経済報告では、基調判断を「景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。」としている。個別項目をみると、6 月からの変更項目は、輸出につき「このところ持ち直しの動きがみられる」としていたものを「おおむね横ばいとなっている」、国内企業物価につき「緩やかに上昇している」としていたものを「このところ上昇テンポが鈍化している」などである。先行きについては、「雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。（以下略）」としている。

県内商工会地域の景況調査においては、今期（2025 年 4 月～6 月）の業況に関する D・I 値は、製造業が前年同期より 8.9 ポイント悪化しマイナス 26.5、建設業は 4.0 ポイント改善しマイナス 28.0、小売業は 8.2 ポイント悪化しマイナス 46.0、サービス業は 3.4 ポイント悪化しマイナス 20.4 となった。前期大きく悪化した建設業は小幅ながら改善したものの、他の業種は悪化した。

来期（2025 年 7 月～9 月期）の業況予測は、製造業が今期実績より 11.8 ポイント改善しマイナス 14.7、建設業が 8.0 ポイント改善しマイナス 20.0、小売業は 5.5 ポイント改善しマイナス 40.5、サービス業は 3.4 ポイント改善しマイナス 17.0 となっている。マイナス水準ながら、全業種で改善が見込まれている。。

業界天気動向図

項　目	売　上				採算（経常利益）				資金繰り			
年　月 / 業　種	2024 7～9 月	10～12 月	2025 1～3 月	4～6 月	2024 7～9 月	10～12 月	2025 1～3 月	4～6 月	2024 7～9 月	10～12 月	2025 1～3 月	4～6 月
製　造　業	雨	小雨	曇り	豪雨	雨	小雨	雨	雨	小雨	小雨	小雨	雨
建　設　業	晴れ	晴れ	小雨	曇り	小雨	小雨	豪雨	雨	小雨	曇り	雨	雨
小　売　業	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	雨	雨	雨	雨
サービス業	晴れ	曇り	小雨	曇り	雨	小雨	雨	雨	小雨	小雨	小雨	小雨

各項目については次により表示した。

区　分	増　加	やや増加	横ばい	やや減少	減　少	大幅に減少
	好　転	やや好転		やや悪化	悪　化	非常に悪化
D・I 値（前年同期比）	20.1～	5.1～20.0	5.0～△ 5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表　示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

（数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す）

製 造 業		1位		2位				4位			
1 位にあげる問題点		原材料価格の上昇		生産設備の不足・老朽化		製品（加工）単価の低下、上昇難		人件費の増加		需要の停滞	
前期	今期	21.2	40.6	12.1	12.5	6.1	12.5	15.2	9.4	12.1	9.4
建 設 業		1位		2位		3位				4位	
1 位にあげる問題点		材料価格の上昇		従業員の確保難		材料費・人件費以外の経費の増加		民間需要の停滞		官公需要の停滞	
前期	今期	29.2	34.8	20.8	17.4	4.2	13.0	0.0	13.0	8.3	8.7
小 売 業		1位		2位		3位				5位	
1 位にあげる問題点		仕入単価の上昇		店舗の狭隘・老朽化		大型店・中型店の進出による競争の激化		消費者ニーズの変化		同業者の進出/購買力の他地域への流出	
前期	今期	41.2	40.6	2.9	12.5	8.8	9.4	8.8	9.4	—	6.3
サービス業		1位		2位		3位		4位		5位	
1 位にあげる問題点		材料等仕入単価の上昇		利用者ニーズの変化		人件費以外の経費の増加		店舗施設の狭隘・老朽化		従業員の確保難	
前期	今期	32.7	44.7	9.6	18.4	19.2	10.5	11.5	7.9	0.0	5.3